

# HOTELERES

週刊 ホテルレストラン

2021 4 | 2

特集

## 各エリアのキーマンに聞く、 ホテル業界の現状と今後の課題

TOP INTERVIEW

(株)ブライド・トゥー・ビー

代表取締役 伊藤 誠英氏

## 六甲山アスレチックパークGREENIA 開業

## 宿泊施設・企業・自治体との連携で、さらなる盛り上がり 国内最大級のアスレチック施設 「六甲山アスレチックパークGREENIA」開業

六甲山観光(株)は運営する六甲山カンツリーハウス、六甲山フィールド・アスレチックおよびフォレストアドベンチャー・神戸六甲山を統合し、「六甲山アスレチックパークGREENIA (グリーニア)」を4月3日に新たにオープンする。今回は、同施設を運営する六甲山観光(株) 取締役 観光事業部長の上田 準氏に、施設の概要から開業に至るまでの背景、観光業界へ期待できる効果などについて聞いた。以下に、その内容をレポートする。



六甲山観光(株) 取締役 観光事業部長  
上田 準氏

### 期待度の高い新たな大規模観光施設 これまでにない初の試みも

いよいよ開業を迎える「六甲山アスレチックパークGREENIA」のキャッチコピーは「山、空、水辺。すべてが舞台の冒険王国」。国内最大級のアスレチック施設である同施設は、合計164ポイントのアスレチックが楽しめる。うち80ポイントは、全国のアスレチック施設を体験す



フォレストアドベンチャーmecya forest(メッチャフォレスト)の一つ

る動画で人気であり、日本中に多くのファンを持つ動画クリエイター集団 Fischer's (フィッシャーズ) が監修。動画クリエイターの起用は初の試みであり、同施設に対する期待の高さも窺える。主な顧客ターゲットは、関西圏在住のアクティブな若年層やファミリー層。バリエーションに富んだスリル満点のコースや水上アスレチック、そして六甲山の自然と一体化した緑豊かな空間は、子供だけでなく大人をも虜にするだろう。

### 宿泊施設や企業、自治体との連携 さらなる盛り上がり予感させる六甲山

同社の親会社である阪神電気鉄道は、1927年に六甲山上で事業を開始。その後、六甲山カンツリーハウス・六甲山フィールドアスレチックが誕生したが、1995年の阪神・淡路大震災の影響で来場者は減少、収支改善にはなかなか至らなかったという。そのような中、「自然」と「アクティブに遊べる施設」の可能性に改めて気づき、2年の構想を経てフォレストアドベンチャー・神戸六甲山を2019年に開業。若年層の間で好評となったことをきっかけに、今回の大型観



バラエティアスレチック yahhoy (ヤッホイ) の一つ

光施設の開業に至ったという。

創業からの長い歴史の中で、運営形態は変えずに続けてきた同社が、満を持して新たな形で開業する「六甲山アスレチックパークGREENIA」。季節を問わず全国から多くの方に来場してもらいたいと上田氏は話す。また、アウトドアエルネスプログラムは(株)サップスと業務提携し提供。他企業や人気動画クリエイターとの連携で、より多くの集客を期待する。さらに、今後は神戸市街地や有馬温泉など近隣の宿泊施設との連携も視野に入れており、アスレチック施設入場券付き宿泊プランなど利用方法を構築中。阪急阪神東宝グループの一員であることから、阪急電鉄や阪神電車と神戸市バス、ケーブルカーもついたプランも販売予定だ。

なお、神戸市は現在「六甲山上スマートシティ構想」に取り組んでいる。六甲山上にスタートアップ企業やベンチャー企業を誘致し、コワーキングスペースの構築や先進技術を使った社会実験などを行なう取り組みであり、同社のグループ会社(株)いきいきライフ阪急阪神が事業を務める。六甲山は今後さらに、活況を呈する地域となること間違いなさだろう。



水上アスレチック wonder amembo (ワンダーアメンボ) の一つ

「六甲山アスレチックパークGREENIA」入場チケットはコンビニエンスストアやHPで購入可能予定(3月11日時点ではローソン・ミニストップでチケット販売中) HP: <https://www.rokkosan.com/greenia/>